

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況(腸管病原菌含)

検出菌 ウイルス	2021年												2022年									
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月 ~6日	2月 ~13日	2月 ~20日	2月 ~27日	3月 ~6日	3月 ~13日	3月 ~20日	3月 ~27日	4月 ~3日
カンピロバクター	114	65	137	114	169	115	122	85	45	63	84	78	76	12	4	10	8	11	7	12	12 (13)	17
病原性大腸菌	39	25	52	61	55	64	63	45	42	102	62	44	29	14	5	7	15	11	12	3	9 (11)	9
腸管出血性大腸菌	1	0	0	0	1	2	3	2	0	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
サルモネラ	6	5	3	1	5	8	10	23	9	25	7	4	4	1	0	1	1	1	1	3	2	1
黄色ブドウ球菌 MSSA	14	16	33	19	39	25	17	15	20	26	21	12	35	3	1	4	4	6	6	8	3 (5)	1
黄色ブドウ球菌 MRSA	10	10	15	25	31	13	14	19	10	18	8	18	19	2	6	1	1	3	4	2	0	4
腸炎ピブリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	2	1	3	4	4	0	4	5	3	3	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ロタウイルス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ノロウイルス	4	5	6	11	13	9	0	0	0	0	0	2	4	0	0	0	0	0	1	3	3	0

* ()は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和4年第13週(3月28日~4月3日)

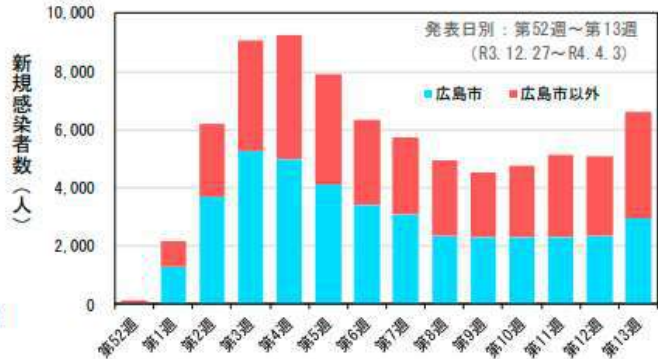
2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	6	結核	6			1		4	1	
三類	0	発生なし	0							
四類	0	発生なし	0							
五類	3	破傷風	1					1		
		梅毒	2					2		
新型インフルエンザ 等感染症	6,725	新型コロナウイルス感染症	6,725	648	448	878	112	3,012	420	1,207

注) 西部 … 大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市
西部東 … 竹原市、東広島市、大崎上島町
東部 … 三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町
北部 … 三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

新型コロナウイルス感染症新規感染者数の推移(広島県内)



1 新型コロナウイルス感染症

第13週に3,012件の報告があり、前週と比べて増加しました。広島県全体でも増加しており、新型コロナウイルス感染症の流行が始まって以来最も多かった令和4年第4週の約7割に達しています。

年度末から年度始めは人が集まる機会が増え、感染リスクが高まります。感染の再拡大を防止するため、一人一人が感染防止対策を徹底しましょう。

【出典】グラフ:新型コロナウイルス感染症に関するオープンデータ(広島県)
<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/19/opendata-covid19.html>

2 破傷風

1件の報告があり、今年の累計は3件となりました。破傷風は、土壌などに生息する破傷風菌が傷口に入り込んで増殖し、産生された毒素により筋肉のこわばり、開口障害(口が開きにくい)、呼吸困難などを引き起こす感染症です。日本では、年間約100人が破傷風を発病し、5～9人が亡くなっています。

予防にはワクチン接種が有効です。定期予防接種は忘れずに接種し、未接種の方や接種後10年を過ぎた方は必要に応じて追加接種を検討しましょう。また、ケガをした場合は傷口を流水で洗浄し、特に深い傷や汚れた傷がある場合は、すみやかに医療機関を受診しましょう。

【参考】破傷風とは(国立感染症研究所) <https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/466-tetanus-info.html>
 【参考】子どもの予防接種について(広島市) <https://www.city.hiroshima.lg.jp/soshiki/72/2952.html>

■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間平均(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間平均(注)	発生記号
フィイン	インフルエンザ	-	-	1.59		小児科	流行性耳下腺炎	2	0.08	0.07	
	咽頭結膜熱	3	0.13	0.21			RSウイルス感染症	2	0.08	0.34	
小児科	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3	0.13	1.77		眼科	急性出血性結膜炎	-	-	0.03	
	感染性胃腸炎	73	3.04	4.85			流行性角結膜炎	1	0.13	0.53	
	水痘	2	0.08	0.29		基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	
	手足口病	6	0.25	0.16			無菌性髄膜炎	-	-	-	
	伝染性紅斑	-	-	0.10			マイコプラズマ肺炎	-	-	0.09	
	突発性発しん	6	0.25	0.28			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	ヘルパンギーナ	-	-	0.03		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	1	0.14	0.85		

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5～2の増減
微増減	↔	↔	前週と比較しておおむね1:1.1～1.5の増減
横ばい	→	→	ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注)過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■ 全数把握感染症報告状況(新型コロナウイルス感染症を除く)

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	4	27	40歳代・1人、70歳代・1人、80歳代・2人
5	梅毒	2	53	20歳代、60歳代・推定感染地域:国外
5	破傷風	1	3	70歳代